



岩江中だより

第 49 号
 発行日：平成 28 年 3 月 24 日
 発行：三春町立岩江中学校
 電話：0247-62-8290
 FAX：0247-62-8380
 E-mail:school@iwae-i.fks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【27年度を振り返り28年度に生かす！ ～修了式でみんなで考えました。～】

3月23日(水)は、平成27年度の修了式が実施されました。校長式辞と2名の生徒さんからの意見発表がありました。自分(たち)の歩んできた道のりを振り返り、そこで学んだことを次の歩みに生かすことは、自分(たち)の人生をさらに充実させていくために欠かせないことです。校長式辞はともかく、生徒さんの発表はとてもすばらしいものでした。よく反省し、よく次の道をめざそうとしていた内容となっていましたので、ご紹介すると共に、充実した平成28年度のよりどころとしていきたいと思っておりますので、どうぞご覧ください。

3学期の反省と来年度への抱負

2年 生徒代表

私の3学期の反省は2つあります。

一つ目は、学習面です。2年生の後半になり、学習内容も難しくなり、毎日の、家庭での学習が重要になってきました。しかし、私は、やらなければいけないことを後回しにしてしまい、学習が雑になってしまい、提出するためにやるという事態になってしまったことがありました。さらに、定期テストが近いのに、相変わらず学習を後回しにして、出すためだけにやり、毎回、テストの前日になると焦ってしまいました。ですから、私は、来年度は、やらなければならないことを優先して行い、充実した学習にしていきたいと思っております。また、3年生になると、テストが多くなるので、焦らないように、毎日の学習の積み重ねを大事にしていきたいと思っております。



二つ目は、生活面です。家に帰ってからの生活では、いつも親から、「だらしない。」と言われていて、自分でも、たまに、生活のリズムが崩れてきているなと思うときがあります。ですから、これからは、生活の中で、家族の手伝いをするなど、何か目標を作り、それを達成し、また、目標を作り、それを達成していくことを繰り返していきたいと思っております。

学校生活では、授業やその他の諸活動などに、少し、積極性が足りなかった気持ちがします。雪が降ったとき雪かきを怠ってしまったこと、授業に集中できなかったり積極的に発言ができなかったりしたので、来年度は、周りを見ての行動と積極的な取り組み・発言を目標にして生活していきたいと思っております。

私たち2年生は、最高学年として、今まで述べた反省の改善の他に、最高学年としての自覚と責任感をもち、下学年を引っ張っていき、岩江中の教育目標『自立』の言葉を大切にし、中学校生活最後の1年間を、一生懸命、そして、大切に過ごしていきたいと思っております。

1年間を振り返って

1年 生徒代表



中学校に入学し、今日で1年が終わってしまいます。あっという間に時間が過ぎましたが、毎日が充実し、たくさんのことを学びました。この1年間を振り返りたいと思っております。

はじめに、生活面です。小学生から中学生になって大きく変わった教室移動、なかなか慣れなくて、休憩時間も緊張感でいっぱいでしたが、今ではスムーズにできるようになりました。それと、1年間心がけてきた、“しっかりあいさつをする”ということに関してですが、相手に聞こえるような声で、ハキハキと言うことを毎日意識しました。学校の目標である『自立』の意味が少し分かるようになったと思っております。伝わるととても気持ちがよいので、これからもぜひ、続けていきたいと思っております。

す。学校行事の芋煮会や緑風祭では、積極的に参加できたので、楽しむことができました。来年度はもっと楽しめるようがんばりたいです。

次に、学習面です。私は、どの授業も真剣に取り組むことができました。テストの点数は思うようにはとれませんでした。習ったことは少しずつ覚え、数学・英語は好きな科目となりました。反対に、国語・理科・社会は得意とはならなかった。これからは、克服できるよう努力していきたいと思っております。技能教科では、体育・音楽・家庭が好きな科目なので、一生懸命取り組むことができました。どの授業に対してもいつも真剣でありたいと思っております。

春に行われた特設陸上部の活動では、長距離の選手に選ばれました。持久力も体力もあまりなかった。なぜ候補選手に選ばれたのか分からないまま練習しましたし、よい結果を出せず悔しかったのですが、この大会に出るまでの練習で、暑さに負けない身体やすぐにあきらめない心を

学ぶことができました。来年度も挑み、今度は、よい結果が出せるようにしたいと思います。それから、足のけがで参加できなかった駅伝にも今度こそチャレンジしてみたいと思います。

最後に来年度の抱負です。まずは、絶対に学校を休まない強い身体と心を作り、皆勤賞の記録を伸ばすこと、学習面では、不得意教科の成績を上げていくことを実践したいです。そして、特設部の陸上、駅伝、合唱に入り、学生生活を楽しくしていきたいと思います。忙しくなっても、自分に言い訳せず、自分に厳しく、他人に優しく、2年生の生活を送っていききたいと思います。

平成27年度 三春町立岩江中学校修了式式辞

三春町立岩江中学校長 佐藤和典



今日で平成27年度が終了します。今日の修了式は、みなさん自身の、この1年間のがんばりを振り返ると共に、さらに充実した平成28年度につなげるための機会としていただきたいと思います。

今年度、入学式や始業式で、まずみなさんにお話したことは、『命の大切さ』・『命のかけがえのなさ』についてでした。今年1月13日の『車椅子バスケット』、3月4日の『命を見つめる日』をとおして、学校全体で、『命』の重みは何ものにもまして大切なこと、一つ一つの『命』のかけがえのなさということについて学びました。これからも、学校や教室は『公共の場』であり、自分と同じくらい、他の人の気持ちや立場を大切にしたい学

校生活を心がけていってください。

次に繰り返したのは、岩江中学校の教育目標『自立』。そして、『自立』するための4つの視点「真理」・「博愛」・「健康」・「貢献」のお話でした。今のみなさんは、その4つの視点をとおして、1年前よりずっと『自立』に近づいています。そして、その『自立』にたどり着くための方法もお話しました。それは、校長の「学校経営方針」というもので、それは、『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～というものです。生徒同士、生徒と先生、お父さん、お母さんと先生方が、『共に』しっかりと語り合い、それぞれの喜びや苦しみを分け合い、みんなが信頼関係で結ばれ、学校生活を安心感をもって、それぞれに成長していけるような学校づくりをこれからもめざしていき、1年後には、ここにいるすべての人が、本当の『自立』した人間となって卒業・進級できるようにしていきましょう。

さらに、機会あるごとにお話したのは、『続けること』と『積み重ねること』の大切さ、そして、『私にはこれがある』というお話もしました。これからお話しする20個の例は、みなさんの中の誰かが実際に取り組んだ事実です。みなさんにはいくつあてはまるか数えてみてください。1日も学校を休まずに登校できた人。人が見ているいなくてもトイレのスリッパをそろえられた人。毎日、花の水やりができた人。いつも心を込めたあいさつができた人。だめなことはだめと言ってくれる友達がいる人。いつも笑顔を絶やさなかった人。テストで学年トップに立った人。辛いことから逃げなかった人。友達がうれしいときに一緒に喜んであげられた人、悲しいときには一緒に悲しんであげられた人、とても暑かった今年の夏休み、毎日、学校に来て勉強や部活動に取り組んだ人、早朝からの陸上や駅伝練習に歯を食いしばって耐え続けた人、心に届く演奏をしようと合唱や伴奏の練習に熱心に取り組んだ人、家の手伝いをしっかりした人、地域の行事に積極的に参加した人、夏休み・冬休みの約束事をきちんと守り生活できた人、新人戦や各種大会をがんばった人、『緑風祭』に友達と協力して取り組めた人、『チクチク言葉』を捨て、人の心を温かくする『あったか言葉』の使い手になれた人、自分を助け、手伝ってくれた人に「ありがとう。」と伝えられた人、の20例です。いずれの例も、『続けること』と『積み重ねること』を大切にされた結果の、立派な『私にはこれがある』です。これからも、自分にとっての『私にはこれがある』というものを見つけ、磨きをかけていきましょう。

また、『それぞれの普通』というお話もしました。みなさんは、当たり前なのが普通にできる人たちです。そんなみなさんだからこそ、さらに期待することをお話します。集団生活では、『それぞれの普通』を、できるだけ『みんなの普通』に近づける努力をして生活しようということです。それが意外と難しいのです。ここにいる多くの人は、『あいさつは大切だ。』と言うでしょう。あいさつは大切です。毎朝、横断歩道でみなさんを待っていると、みなさんの『それぞれの普通』で、いろいろなあいさつをしてくれます。集団生活の中での活動で大切なことは、『自分にとっての普通』で自らの成長の可能性を止めてしまわないことです。岩江中学校の先生方は、『それぞれの普通』で終止しないように、『語り合い』や『分かち合い』を大切にしています。『自分にとっての普通』を、よりみんなが納得できる『普通』に近づけるよう努力しています。ぜひ、みなさんもそんな先生方のあり方・態度を見習い、みんなが温かい心で、互いに認め合い、励まし合って生活できるよう、人と人との間にある『それぞれの普通』の壁をできるだけ小さくする努力をしていきましょう。

平成27年度最後の時である修了式を迎え、みなさんのこれまでのがんばり・成長を振り返ると共に、平成28年度にむけ、生徒のみなさんと先生方が『共に』めざしていくべき姿とその実現にむけてこころがけることをお話しました。結びにもう一度繰り返します。この岩江中学校で学ぶすべてのみなさんが、「今日も楽しかった。」「一生懸命がんばった。」「岩江中学校でよかった。」とさらに自信をもって言えるような平成28年度をめざし、みんなが一丸となって活動できる岩江中学校となるよう心から願い、平成27年度の修了式式辞といたします。